

学生優秀口頭発表賞

P14-06-1500 Yuanyuan ZHAO (京大院・エネ科)

『Role of Cannizzaro reaction in Hydrogenation of Aqueous Acetic Acid by Flow-type Reactor with Ni-Sn/TiO₂ catalyst for Bioethanol Production』

Yuanyuan ZHAO, 河本晴雄, 坂志朗

1 スライド作成で工夫した点

今回の発表ではよく似たグラフが多かったため、どの図が何を示しているかを一目でわかるようにする必要があった。そこで、それぞれの図の条件を示す既述の色を変化させることにより分かりやすくした。また、アニメーションを使うことにより内容を分かりやすく説明できるようにした。

2 スピーチで工夫した点

線図が多いため、発表の際にはポインターでどの部分について言及しているかを示すことが重要であった。また、聴衆の方を向いてしっかりと話すようにすることも注意を払った。

3 練習方法等

練習の時には、通しでリハーサルをするよりも 1 つのスライドを反復練習することが効果的であった。また、学会などには積極的に参加し、場数を踏むことが大切だと思っている。